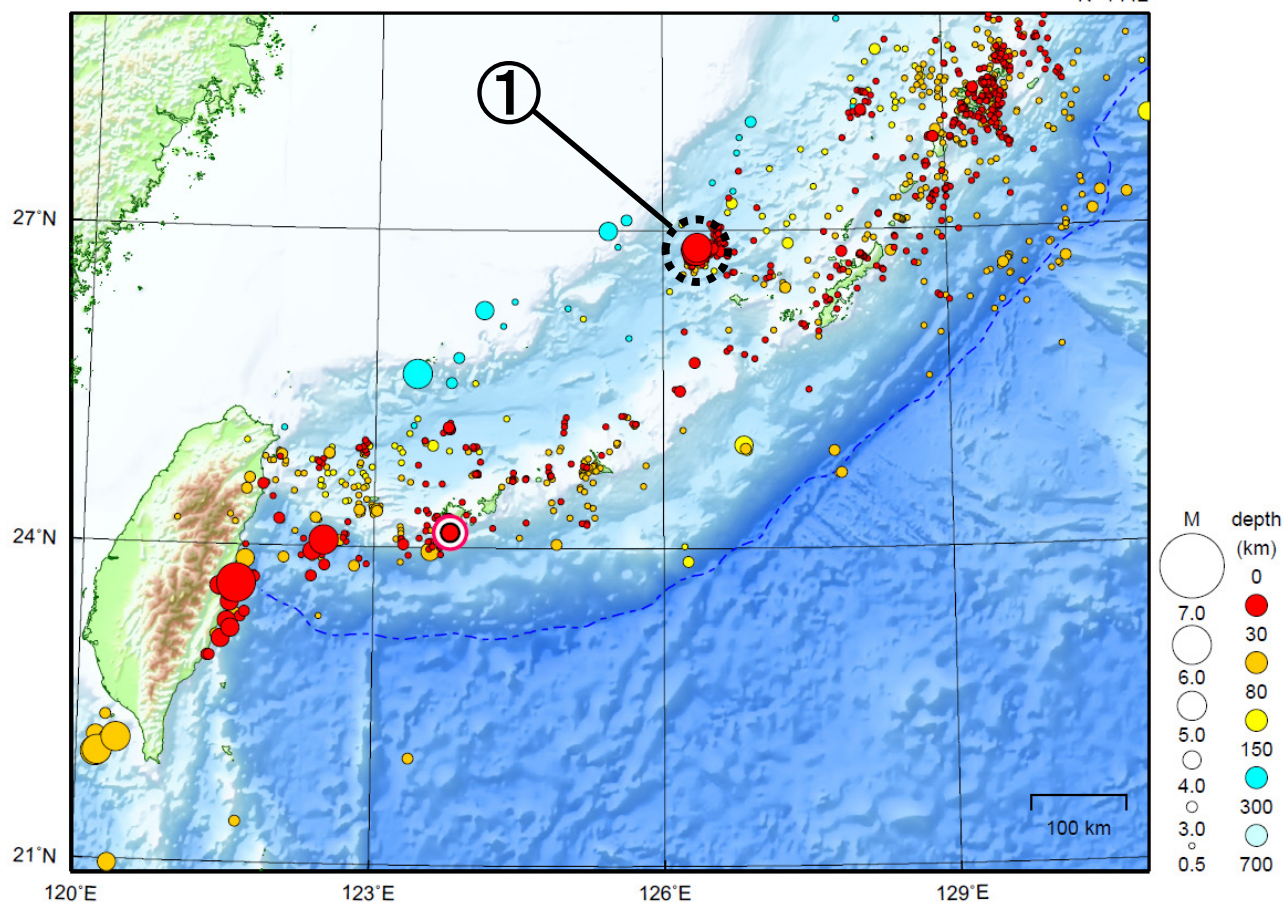


沖縄地方

2022/06/01 00:00 ~ 2022/06/30 24:00

N=1442



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 沖縄本島北西沖では6月中に最大震度1以上を観測した地震が12回（震度2：4回、震度1：8回）発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

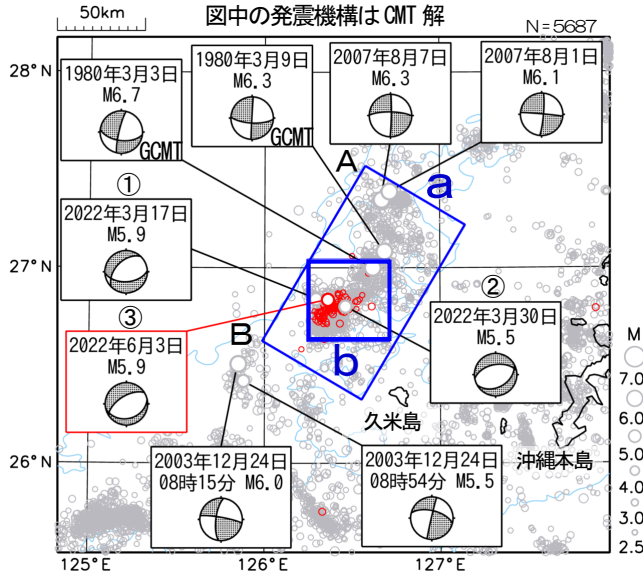
沖縄本島北西沖の地震活動

震央分布図

(1980年1月1日～2022年6月30日、
深さ0km～60km、M $\geq$ 2.5)

2022年6月以降の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

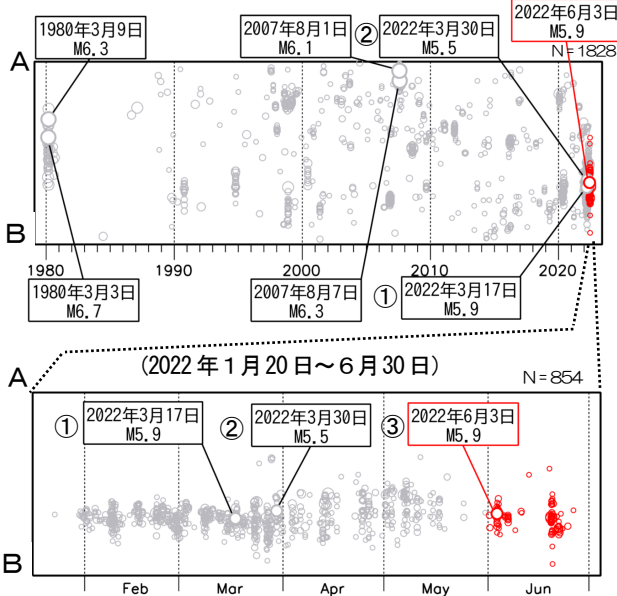


図中の青色の等値線は水深1500mを示す。

※1980年3月3日および3月9日の地震の発震機構はGlobal CMT

領域a内の時空間分布図 (A-B投影)

(1980年1月1日～2022年6月30日)

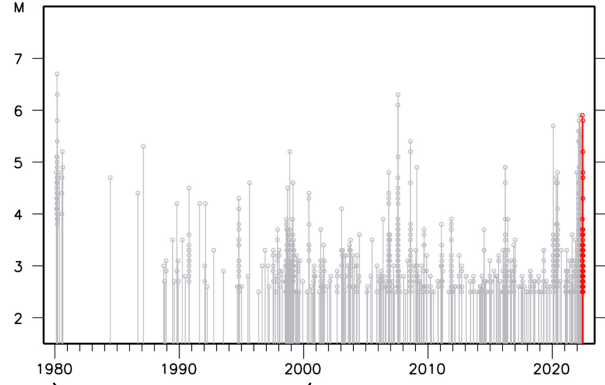


沖縄本島北西沖では、2022年1月30日から地震活動が活発になり、6月中もその傾向は継続している。この地震活動により、6月に震度1以上を観測する地震が12回 (震度2：4回、震度1：8回)、7月は8日09時まで2回 (震度2：2回) 発生した。2022年6月中の最大規模の地震は、3日16時03分に発生したM5.9の地震 (最大震度2、図中③) であった。この地震の発震機構 (CMT解) は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

活動の全期間を通じて、最大規模の地震はM5.9の地震 (3月17日 (最大震度2、図中①) 及び6月3日 (最大震度2、図中③))、最大震度を観測した地震は3月30日のM5.5の地震 (最大震度3、図中②) であった。この地震活動は、沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生している。

1980年1月以降の活動をみると、今回の震央周辺 (領域a) では、M5.0以上を最大規模とした地震活動が時々みられる。1980年2月から3月にかけて活発化した際には、同年3月3日にM6.7の地震 (最大震度3) が発生した。

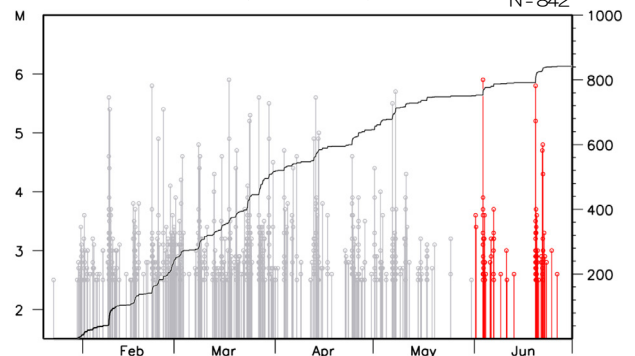
領域a内のM-T図



(この期間の検知能力は低い)

領域b内のM-T図及び回数積算図

(2022年1月20日～6月30日)



震度1以上の最大震度別地震回数表

(2022年1月30日～2022年7月8日09時)

月別	最大震度別回数			震度1以上を観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	回数	累計
1月30、31日	0	0	0	0	0
2月1日～28日	8	5	0	13	13
3月1日～31日	9	7	1	17	30
4月1日～30日	12	4	0	16	46
5月1日～31日	0	2	0	2	48
6月1日～30日	8	4	0	12	60
7月1日～8日09時	0	2	0	2	62
総計	37	24	1		62

震度1以上の日別最大震度別地震回数図

(2022年1月30日～2022年7月8日09時)

